

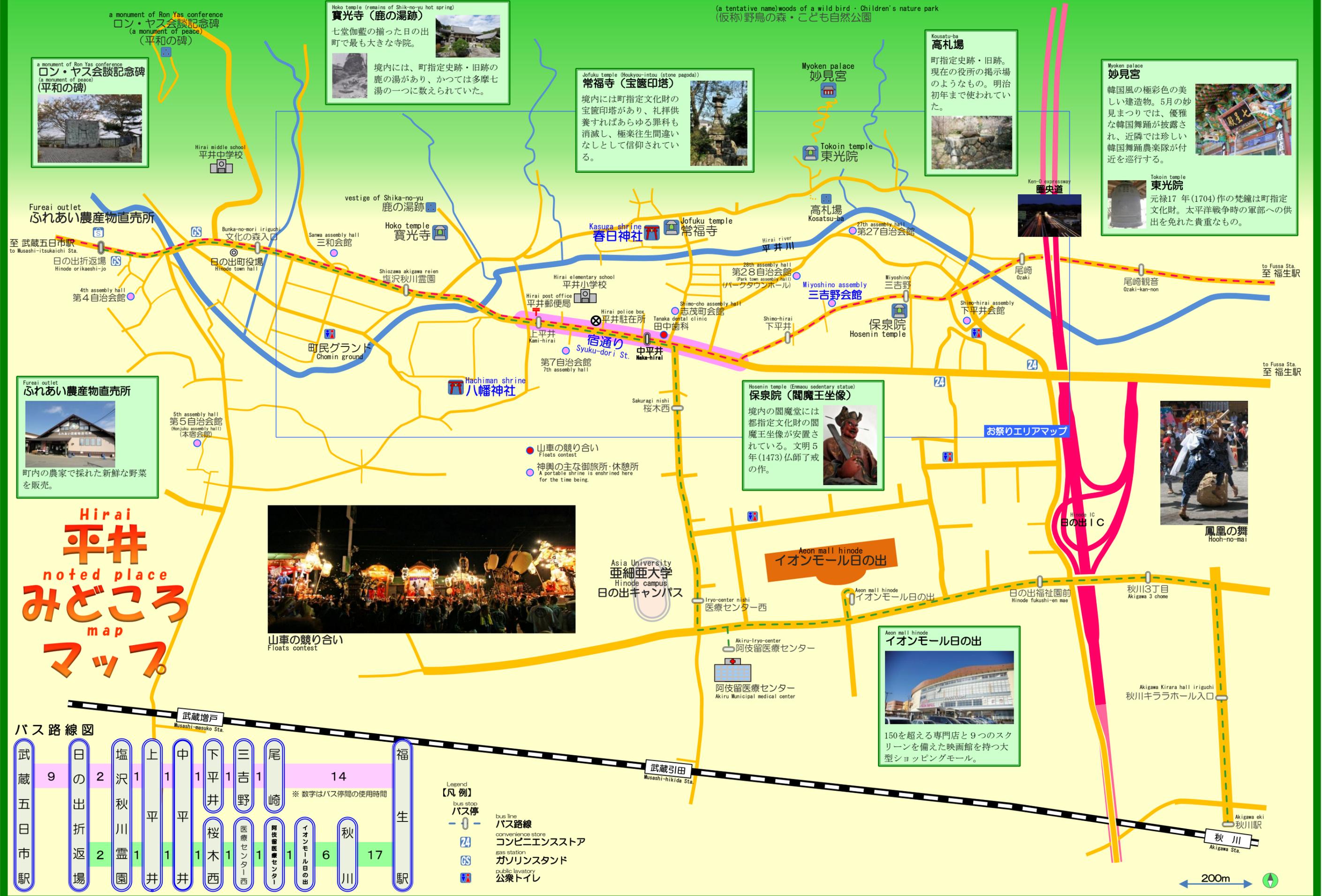
Hirai 平井 noted place みどころ map マップ

バス路線図

武蔵五日市駅	9	日の出折返場	2	塩沢川霊園	1	上平井	1	中平井	1	下平井	1	三吉野	1	尾崎	1	福生駅	14
			2		1		1		1		1		1				17

※ 数字はバス停間の使用時間

- Legend 【凡例】
- bus stop バス停
 - bus line バス路線
 - convenience store コンビニエンスストア
 - gas station ガソリンスタンド
 - public lavatory 公衆トイレ



a monument of Ron Yas conference
ロン・ヤス会談記念碑
(a monument of peace)
(平和の碑)



Hoko temple (remains of Shik-no-yu hot spring)
寶光寺 (鹿の湯跡)
七堂伽藍の揃った日の出町で最も大きな寺院。
境内には、町指定史跡・旧跡の鹿の湯があり、かつては多摩七湯の一つに数えられていた。



Jofuku temple (Houkyou-intou (stone pagoda))
常福寺 (宝篋印塔)
境内には町指定文化財の宝篋印塔があり、礼拝供養すればあらゆる罪科も消滅し、極楽往生間違いないとして信仰されている。



(a tentative name) woods of a wild bird · Children's nature park
(仮称)野鳥の森・こども自然公園

Kousatsu-ba
高札場
町指定史跡・旧跡。現在の役所の掲示場のようなもの。明治初年まで使われていた。



Myoken palace
妙見宮
韓国風の極彩色の美しい建造物。5月の妙見まつりでは、優雅な韓国舞踊が披露され、近隣では珍しい韓国舞踊農楽隊が付近を巡行する。



Tokoin temple
東光院
元禄17年(1704)作の梵鐘は町指定文化財。太平洋戦争時の軍部への供出を免れた貴重なもの。



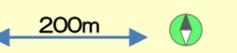
山車の競り合い
Floats contest

Hosoin temple (Ermou sedentary statue)
保泉院 (閻魔王坐像)
境内の閻魔堂には都指定文化財の閻魔王坐像が安置されている。文明5年(1473)仏師了戒の作。



鳳凰の舞
Hoooh-no-mai

Aeon mall hinode
イオンモール日の出
150を超える専門店と9つのスクリーンを備えた映画館を持つ大型ショッピングモール。



平井のお祭り エリアマップ

Hirai Festival area map



the Float of Shimo-cho

志茂町の山車【町指定文化財】

平井志茂町の山車は明治26年(1893)に建造された。一本柱(後建て)人形山車の構造を残す唐破風平屋根の山車。平井地区で建造され伝えられてきた唯一の山車として、その価値は高い。江戸後期から明治前期にかけて八王子を中心に全盛期を形成した八王子様式で、現在も昭島、瑞穂、五日市などに見られる。

the Float of Kami-cho

加美町の山車【町指定文化財】

平井加美町の山車は明治初年、砂川村三番組(現、立川市)の山車として建造された。昭和11年(1936)に平井加美町で譲受け再建造。一本柱(後建て)人形山車の構造を残す唐破風平屋根の山車。江戸後期、多摩一帯に見られた典型的な山車の構造と設計様式を残す。多摩地域では珍しい“ずり棒”と呼ばれる梶様式を持つ。山車の彫刻は、江戸後期から明治初期にかけて活躍した後藤徳次郎の作。現存する多摩の山車彫刻として優れた作品の一つに数えられる。

the Jumatsu school of festival music

重松流祭り囃子【町指定文化財】

重松流祭り囃子は、現、埼玉県所沢市出身の古谷重松によって明治18年頃に伝えられた。戦時中も行われ、伝統を現在に受け継いでいる。重松は行商のかたわら各地に囃子を伝えた。秋川、平井川流域へは頻りに往来し直伝したとつたえられ、平井地域には重松の考案した全曲が伝授されたといわれている。神田囃子系の江戸囃子を改良した、斬新で複雑な演奏形式をもつ新囃子で、テンポの良さと囃子の小太鼓2つ(地と絡み)の掛け合いが特徴的。

Floats contest

山車の競合い

平井のお祭りでは、春日神社の志茂町と加美町、桜木の3基と、八幡神社の八幡と三和の2基の、合計5基の山車が宿通りを巡行し、競合いが行われる。

in front of Tanaka dental clinic 田中歯科前	an eve 宵祭	a festival 本祭
	19:00	19:00

a portable shrine make a round

神輿渡御

春日神社と八幡神社にはそれぞれに神輿があり、氏子の地区内を練り歩く。宵祭の午後7時頃に、田中歯科前で山車と合流する。全ての神輿と山車が勢ぞろいし、祭りで一番の活況を呈する。

a portable shrine of Kasuga shrine

春日神社 神輿

	go out the shrine 神社出御	go into the shrine 神社入御
an eve 宵祭	17:00	11:20
a festival 本祭	21:00	19:00

A portable shrine of Hachiman shrine

八幡神社 神輿

	go out the shrine 神社出御	go into the shrine 神社入御
an eve 宵祭	18:00	10:10
a festival 本祭	21:00	18:00

Hooch-no-mai (the Dance of Phoenix)

下平井の鳳凰の舞【国指定文化財】

江戸風の「奴の舞」と、上方風の「鳳凰の舞」の二庭で構成。全国的にもあまり類例がない貴重な民俗芸能。はっきりした伝承由来の文献はなく、雨乞いや悪疫退散の舞として奉納されている。奴の舞は15人程の小学生たちが白扇と木刀を持ち、お囃子にのって舞いながら、大太鼓を中心に円陣をつくる。その後、太鼓に向かってしゃがみ、一人ずつ「えっへん」ではじまり「ほほ敬って申す」で結ぶ台詞を述べていく。鳳凰の舞は、冠を被った鳳凰役5人と、赤い頭巾を被った5人の総勢10人が、軍配を持ったリーダーの掛け声に合わせて、大太鼓の周りで勇壮に舞う。三吉野会館で身支度し、道行が始まる。

Hooch-no-mai (the Dance of Phoenix) program

鳳凰の舞の道行と庭場

an eve
宵祭

三吉野会館 17:00(出発)	→	森田屋前 17:30	→	下平井会館 18:30	→	第27自治会館 19:00	→	三吉野会館 20:30
--------------------	---	---------------	---	----------------	---	------------------	---	----------------

a festival
本祭

三吉野会館 11:00(出発)	→	春日神社 11:30	→	平井小学校前 13:10	→	カットサロン山田前 13:50	→	
三吉野会館 14:30	→	下平井会館 16:30	→	東自動車工場前 17:30	→	春日神社 18:00	→	三吉野会館 19:30

19:30からの回は「鳳凰の舞」のみ

※神輿や鳳凰の舞などの時間や道行は、年によって変わることがあります。